

平成26年度 事業報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 薬学共用試験センター

1 事業の成果

平成27年度に薬学実務実習を履修する全国の薬系大学(73大学74校)の学生(主に6年制課程の4、5年次学生)を対象とした第6回薬学共用試験(CBTは体験受験及び本試験と追・再試験、OSCEは本試験と追・再試験)を実施した。いずれも大きな支障なく実施することができた。25年度に改訂されたモデルコアカリキュラムに準拠した試験実施(平成30年度以降)に向けて、まずはCBT問題作成システムを改修した。27年度以降にはこれまでに蓄積したCBT出題問題の移行管理や改訂モデルコアカリキュラムへの対応を考慮したOSCE課題の検討を行う予定である。一方、従来に引き続き、大災害などにより関東地区で不測の事態が発生した場合の事業継続準備として、CBT体験受験の実施中に、近畿大学に一時的に設置副事務局において、センターサーバから代理サーバへのシステムの切替や試験管理業務の引継ぎ等の実施訓練を行った。次年度以降も種々の状況を想定して訓練を行う予定である。

2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	25年度の実施状況の共有や26年度に向けた変更点や留意事項に関する説明のため、平成26年度OSCE実施説明会を開催した。	平成26年4月13日	慶応義塾大学薬学部	17人	全国薬系大学の教員(約100名)	694千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	CBT実施における注意点や第5回本試験で新たに見出された事象などの周知徹底を目的としてCBT説明会を開催した。	平成26年5月31日	慶応義塾大学薬学部	6人	全国薬系大学の教員(約150名)	63千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第6回共用試験CBT本試験に先立ち、受験生の練習や体制の確認、新規問題の妥当性の検証を目的としたCBT体験受験を実施した。	平成26年7月25日～9月12日	73薬系大学74校	92人	全国薬系大学の教員(約230名)及び薬学生(10,204名)	1,576千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCEに関するワークショップとモニター説明会を開催した。改訂モデルコアカリキュラムに対応したOSCEを想定した改定案やモニター業務の意義・問題点について協議した。またモニター業務についても再確認した。	平成25年9月1日	慶応義塾大学薬学部	19人	全国薬系大学の教員や日本薬剤師会・日本病院薬剤師会からの推薦者(約150名)	765千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第6回共用試験(CBT、OSCE)の本試験および追・再試験を実施した。	本試験：平成26年11月29日～平成27年1月30日、 追・再試験：平成27年2月17日～3月13日	73薬系大学74校	232人	全国薬系大学の教員(約750名)及び薬学生(10,085名)	7,533千円